

SPACE LINK EXTENSION – APPLICATION PROGRAM INTERFACE FOR RETURN ALL FRAMES SERVICE

「SLE (Space Link Extension) – リターンオールフレーム (RAF) サービス向けAPI」

【概要】

リターンオールフレーム (RAF) サービスについて推奨実践規範を示したものを。

【内容】

CCSDS 911.1-B-3で規定されたRAFサービスを実装するにあたり、CCSDS 914.0-M-2で示されたモデルを元にRAFサービス用に拡張したアプリケーションプログラムインターフェース (Application Program Interface: API) を推奨実践規範として示したものである。

サービスの主体となるService Instance (SI)として以下の2つのクラスが示されている。

- RAF SI User: RAFサービスユーザ
- RAF SI Provider: RAFサービスプロバイダ

各国宇宙機関およびJAXAの動向

JAXAでは、NASA (アメリカ航空宇宙局)、ESA (欧州宇宙機関) 等との相互支援運用を行うため、地上における外部機関ネットワークとのテレメトリ/テレコマンドにかかわる相互通信にSLE (Space Link Extension) の規格を適用している。本規格は、NASA、ESA、CNES (フランス国立宇宙センター) 等、多くの宇宙機関が採用しており、テレメトリ/テレコマンドにかかわる相互通信に利用されている。

